

MD-905

盗聴・盗撮器発見器

製品取扱説明書



- ①LEDライト ②レベルインジケータ ③感度調整ダイヤル ④モード(UG: 磁力 / RF: 電波) ⑤モードボタン
⑥ライトボタン ⑦電源スイッチ ⑧ステータスランプ ⑨USB充電口 ⑩充電ランプ ⑪レンズ検出器

1) ご使用の前に

- ・本製品は盗聴器およびワイヤレスカメラが使用する周波数帯に幅広く対応し発信されている電波を検出します。
- ・電波を発しない隠しカメラやピンホールカメラ等も、赤色LEDライトを使用しレンズ発見のサポートを行えます。

2) 充電方法

- ・付属のUSBケーブルを使用し製品本体のUSB充電口⑨とPC等との接続(バスパワー)またはコンセントからACアダプター(別売)で充電します。
- ・接続すると充電ランプ⑩が赤色に点灯し、満充電になると消灯します。
- ・満充電するにはバッテリーが空の状態より約1時間を目安に行ってください。

3) 電源操作 / モード切替

- ・電源スイッチ⑦を上スライドすると電源がONになりステータスランプ⑧が青色に点灯します。
- ・モードボタン⑤を長押し(約3秒)すると「RF: 電波検知モード」⇄「UG: 磁力検知モード」とモードが切り替わり、モード④のランプ点灯も切り替わります。
- ・電源スイッチ⑦を下にスライドすると電源がOFFになります。

4) 電波検知モード (RF)

- ・電源をONにして「RF: 電波検知モード」にします。(※3) 参照)
- ・検査を行う場所の中心もしくは、障害物からなるべく離れた位置で感度調整ダイヤル③を回して最大にします。
- ・レベルインジケータ②が点灯し、本体が振動します。
- ・検知が止まるまで感度調整ダイヤル③を回して未検知状態にします。
- ・怪しいと思われる対象物付近に、本体を近づけて検査を行います。
- ・電波を検知するとレベルインジケータ②が点灯し、本体が振動します。
- ※モードボタン⑤を押すと振動が止まり、レベルインジケータ②だけの表示になります。

5) 磁力検知モード (UG)

- ・電源をONにして「UG: 電波検知モード」にします。
- ※磁力検知モード時はLEDライト①が発光します(※3) 参照)
- ・検査を行う場所の中心もしくは、障害物からなるべく離れた位置で感度調整ダイヤル③を回して最大にします。
- ・レベルインジケータ②が点灯し、本体が振動します。
- ・検知が止まるまで感度調整ダイヤル③を回して未検知状態にします。
- ・怪しいと思われる対象物付近に、本体を近づけて検査を行います。
- ・電波を検知するとレベルインジケータ②が点灯し、本体が振動します。
- ※モードボタン⑤を押すと振動が止まり、レベルインジケータ②だけの表示になります。

6) レンズ検出モード

- ・USB充電口⑨にレンズ検出器⑪をセットします。(※1mm程隙間が出来るくらいまで差し込みます。※図1参照)
- ・主電源⑬を上スライドさせ電源をONにします。
- ・ライトボタン⑥を押すとレンズ検出器⑪が赤く点灯し、ステータスランプ⑧が赤色に点灯します。
- ・ライトボタン⑥を長押しすると点滅に変わり、押し続けると点滅が早くなり、指を放すと止まります。
- ※点滅の感覚は、ライトを消しても維持されます。電源をOFFにした場合はリセットされます。
- ・再度、ライトボタン⑥を押すとレンズ検出器⑪が消灯し、赤色のステータスランプ⑧も消灯します。
- ・怪しいと思われる場所にLED ライトを照射します。
- (レンズ特有の光反射を応用し「輝く光」としてレンズを検知する事ができます。)
- ・またレンズ検出器⑪のレンズファインダーから覗くことにより、無駄な光の反射を抑えレンズの光を発見しやすい状態になります。
- ・赤色ライトの照射は、多少角度を変化させて対象物に照射すると、さらにレンズの輝きを発見しやすくなります。

7) LEDライト

- ・主電源⑬を上スライドさせ電源をONにします。
- ・ライトボタン⑥を長押し(約2秒)するとLEDライト①が発光します。
- ・再度、ライトボタン⑥を押すと消灯します。

■使用上の注意

- ・LEDライトを直接見つめたり、人の目などに照射したりしないでください。
- ・ご使用の際、充電器または製品から異常な過熱やにおいなどが発生した場合、すぐにご使用を中止してください。

■その他

- ・電波発信源の特定後、危険を伴う恐れのある場合は、専門の調査機関にご相談ください。

※本機能は盗聴器および盗撮器の発見を保証するものではありません。
※携帯電話、ワイヤレスフォン、電子レンジなどの付近では正しく検知できない事があります。
※インジケータが過剰に反応する場合は、感度調節⑩で調整して下さい。
※本製品は100MHz～8000MHzの電波を検知するもので、電波を発信している対象物が盗聴器およびワイヤレスカメラであると断定できるものではありません。
※また最新の盗聴・盗撮器の機種によっては、微弱電波タイプもありアンテナ⑧と近距離まで接近しないと検知できない機種もございます。

＜注意事項＞

Ver.01

●ご使用中本体が発熱し多少熱くなる事がありますが、異常ではありません。●バッテリー稼働時間はあくまでも目安であり稼働を保証するものではありません。●製品ケースや本体のデザインは予告なく変更される事があります。●プライバシーの侵害・迷惑防止条例等に抵触する行為には使用しないでください。●輸入品につき、製品箱等にキズ・汚れがある場合がございます。

注意・警告



本製品は高精細画質の録画および保存を行うため、バッテリーにはリチウム蓄電池を採用しております。リチウム蓄電池は、ニッケルベースのバッテリーよりも出力密度が高いのが特長です。そのため、より軽量ながら駆動時間も長いのですが、**高温・加熱のある場所では発火の可能性もありますので、ご使用や保管方法には十分ご注意ください。**またバッテリーを長持ちさせるため必要以上の過充電や過放電(完全に放電した状態)の状態では保存しないようご注意ください。(電池の寿命が極端に短くなります)ご使用にならない際は、充電が半分程度の容量がある状態で保存される事を推奨いたします。

この製品保証書は以下の保証規約に基づき、初期不良および取扱説明書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合の無償修理・交換をお約束するためのものです。

領収書／納品書添付欄

※購入先／購入日が判別できるものがが必要です※

返品の際は、販売店および購入日がわかるもの（領収書や納品書）付属品、外箱等すべて揃っている事が前提となります。
また販売店へお伝えした不良事象を上記にご記入ください。

- ① 保証期間について
保証期間は製品保証書に明記された期間とします。
- ② 製品交換・修理後の保証期間について
製品交換または修理対応後の保証期間は、ご購入日から当該製品に定められている正規の保証期間の残り日数、または修理対応後5日間のいずれかの長い期間となります。

- ③ 初期不良
製品購入後に不具合があった場合、原則交換させていただきます。製品購入日または製品到着日より、5日以内に販売店へお申し出いただき、上記保証期間内に指定の送付場所へ返送するものとします。
- ④ 製品保証
ご使用後、製品に不具合が生じた場合、上記保証期間に限り無償で修理または交換させていただきます。不良事象を販売店へお申し出いただき、上記保証期間内に指定の送付場所へ返送するものとします。
なお、往復の送料はお客様の負担となります。

- ⑤ 製品検査および修理
お送りいただいた製品につきましては、メーカー指定の製品検査方法により、不良・故障の判断をさせていただきます
なお、動作チェックには、2〜3日いただく場合もございます。
また、その結果修理が必要な場合、更に日数を要する場合もございますのであらかじめご了承ください。

- ⑥ 保証期間内であっても、初期不良または無償修理(または交換)として応じられない製品
- (1) 製品保証書・販売証明書(販売店のレシート等)の提示(購入年月日の証明含む)がない製品
 - (2) 弊社への事前連絡なく返品された製品
 - (3) 製品到着後6日以上経過した製品(※初期不良対応に限りません。)
 - (4) お客様の手許で改造されたり不当に修理された製品
 - (5) 化粧箱・製品付属品等が破損・紛失した製品
 - (6) 譲渡・転売・中古販売・オークション等により入手された製品
 - (7) 火災、地震、水害、落雷その他付属品以外のACアダプタやケーブルなどの使用により故障または損傷した製品
 - (8) 製品検査後、お客様の過失による製品故障または破損と判断された製品
 - (9) 製品検査後、弊社にて不良判断がなされなかった製品(お客様の使用環境による不具合・障害を含む)

- ⑦ 防水機能使用時の禁止事項(防水製品のみ)
- 生活防水機能とは【防水性能のJISに等級】
- ※4級 防たつ型 (生活防水・汗や多少の雨など水圧がかからない水滴がついても大丈夫)
- (1) 製品表記の生活防水は濡れたままでの操作は保証されていませんのでご注意ください。
- (2) シャワーや手洗い等の水の直撃には耐えることができません。
- (3) 蒸気に対しては防御されませんのでお風呂や温泉など湯煙などではご使用できません。
- (4) 使用後はかならず乾いた布で拭いて水分を拭き取ってください。

防水気圧	○m防水	手洗い・雨	シャワー	プール	飛び込み	ダイビング
3	30	○	×	×	×	×
5	50	○	×	×	×	×
10	100	○	○	○	×	×
30	300	○	○	○	○	○
100	1000	○	○	○	○	○

(1) 製品の不良や使用時の不注意に起因する他の機器への損害、および運用上のお客様の不利益や損害に関しましては弊社は一切の責任を負わないものとします。

(2) MicroSDおよびハードディスク内に蓄積されたデータに関して、いかなる場合においてもその保存および保持は一切保証いたしません。